

東金市ガス事業経営戦略【改定版】の概要

1. 経営戦略の改定にあたって

計画の特徴

公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画（保安対策の充実、施設の整備や管理、投資・財源計画の明確化 等）

改定の背景

- ・人口減少、物価高等社会経済情勢の変化に伴うガス事業への影響
- ・サービス需要の減、老朽化施設の更新需要の増等経営環境の変化
- ・国からは2025（令和7）年度までに計画改定を要請

改定の目的

計画の質を高めて、お客様へのサービスの安定的な提供と持続可能な経営基盤の強化・財政マネジメントの向上を図る

計画期間

2021（令和3）年度～
2030（令和12）年度
【投資財政計画：～2035（令和17）年度】

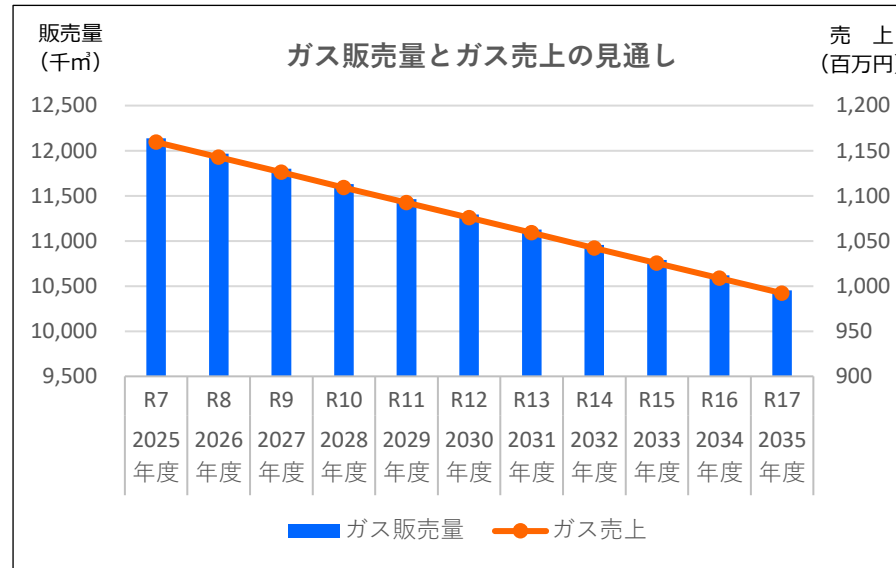
2. 将来環境の見通しと経営の基本方針

人口動向

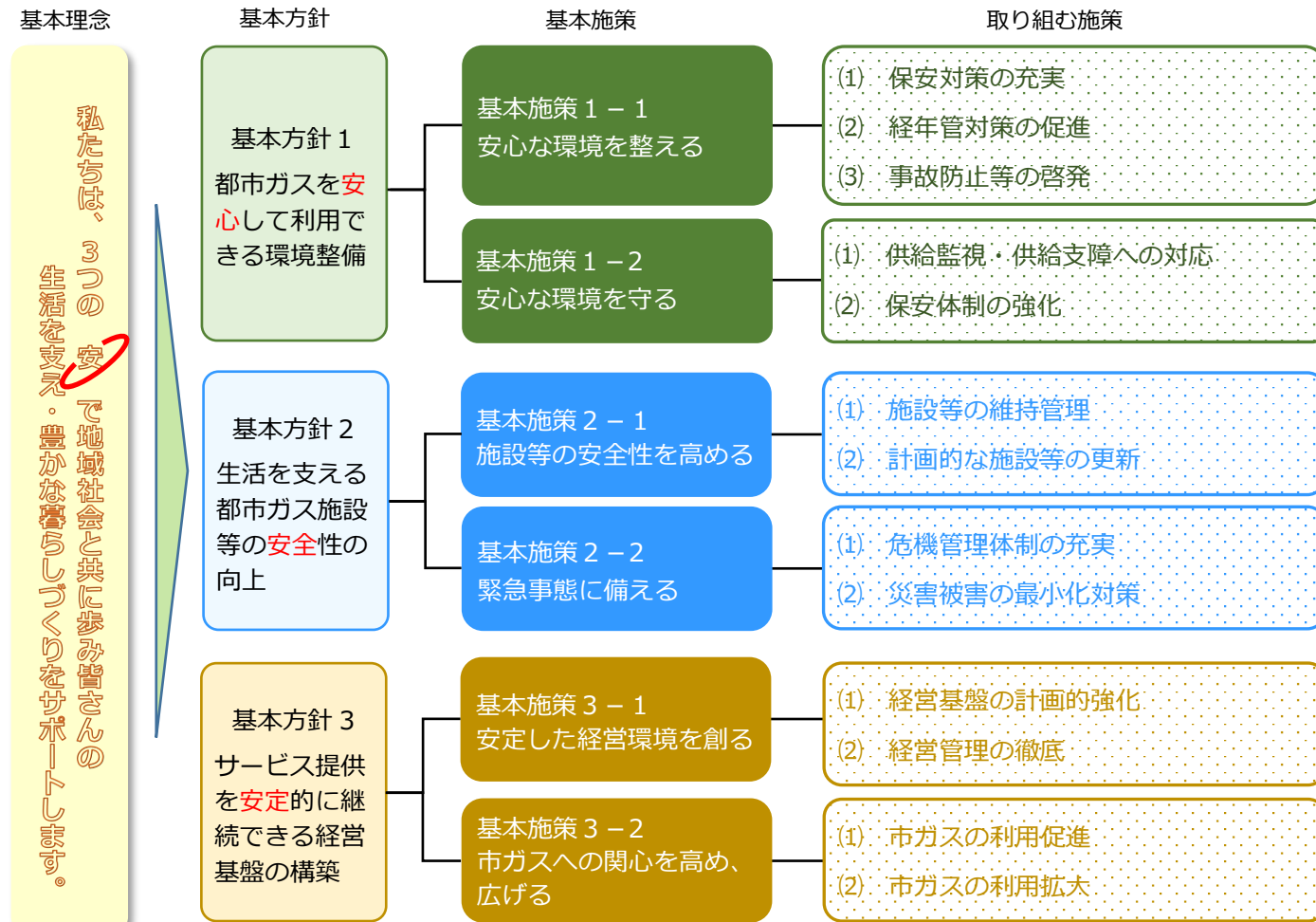
- 東金市第4次総合計画の推計データに基づく人口見通しを引き続き採用
- 計画期間内の2030（令和12）年の人口は約55,000人と計画改定時から4%の減少

ガス販売量とガス売上の見通し

- ガス販売量は2030（令和12）年に11,294千 m^3 （現計画比 $\Delta 1,579$ 千 m^3 ・ $\Delta 12\%$ ）と推計
- ガス売上は料金改定の実施と販売量との連動を考慮し、2030（令和12）年に約10.8億円の見込み（現計画比+1.3億円・+14.0%）



施策の体系



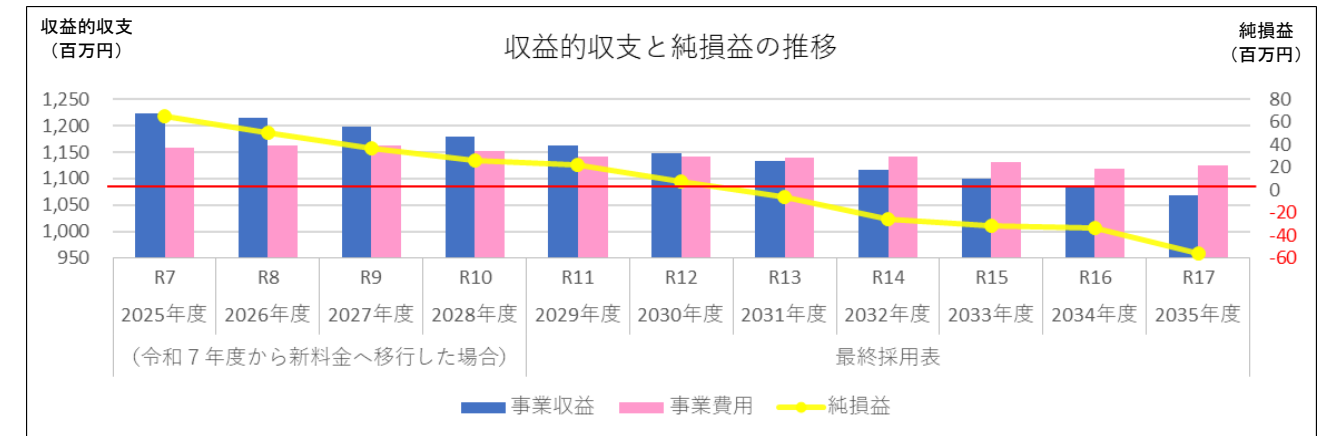
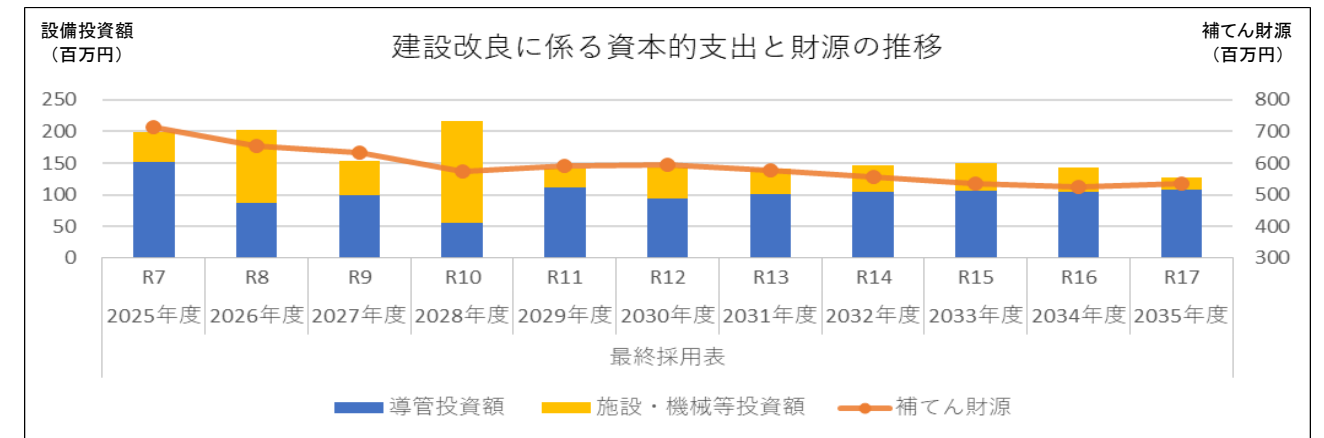
3. 投資・財政計画

経営の効率化・健全化に向けた取組

- 1) 建設改良に係る投資額の平準化
- 2) 資産の有効活用と既存施設の長寿化対策の実施
- 3) 原価算定に基づく料金体系の適正化（料金改定の実施）
- 4) 将来に備えた積立金の確保
- 5) 新技術導入に伴う職員定数管理の厳格化
- 6) ICT活用によるサービス向上（アプリ決済の導入）

投資・財政計画

投資・財政計画は、本計画期間の2030（令和12）年度の5年後の2035（令和17）年度まで推計



4. 事後検証及び改定の考え方

